様式第 6 号（第 10 条関連）

大和高田市立病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 （研究番号）	卵黄をアレルゲンとする Acute Food protein-indced enterocolitis syndrome(FPIES)小児の予後に関する研究～多施設共同前向きコホート研究(R5-42)
当院の研究責任者 （所属）	池田　聡子（小児科）
他の研究機関および各施設の研究責任者	研究代表施設；近畿大学病院　研究代表者；小児科　益海大樹 研究協力施設および各施設の研究責任者 市立貝塚病院（山崎晃嗣、大阪警察病院(田中祐子)、大阪赤十字病院(肥田晋也)、大阪はびきの医療センター（高岡有理）、大阪はびきの医療センター（高岡有理）、神戸市立医療センター中央市民病院（岡藤郁夫）、神戸市立医療センター西市民病院（田中由起子）、国保中央病院（中農昌子）、市立奈良病院(大塚敬太)、市立東大阪医療センター(土井政明)、住友病院（川上智子）、星ヶ丘医療センター(杉本有紀子)、八尾市立病院（濱田匡章）
本研究の目的	卵黄消化管アレルギー症例を前向きに集積し、3 年後までの耐性獲得の推移、それに関わる背景因子などを明らかにする。
調査データ 該当期間	2022 年 6 月から 2027 年 6 月までの情報を調査対象とします。 （※研究全体の実施予定期間ではなく、研究として収集する調査データの期間です）
研究の方法 （使用する試料等）	●対象となる患者さま 上記期間内に当院小児科に受診し、3 か月以内に卵黄摂取により嘔吐した既往があり、卵黄消化管アレルギーと診断された 0-2 歳の方で本研究の説明を受け同意頂いた方。 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。 鶏卵の摂取可能量や摂取頻度、経口負荷試験の結果、皮膚テスト、血液検査結果などの情報を利用します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	多施設共同研究であり、研究代表施設である近畿大学病院へデータを匿名化して提供します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	実施責任者および研究協力者は研究内容について他者との利害関係を有しません。
お問い合わせ先	電話：072-366-0221 担当者：近畿大学病院　小児科　益海大樹
備考	調査に参加することによる研究対象者の費用負担は発生しない。インセンティブとして、初回の経口負荷試験実施時に 500 円、研究終了時に 1000 円のＱｕｏカードを進呈する。